

開かれた窓

写真誕生の170年

Part1: 現代美術としての写真

イタリアは“芸術の宝の都”
～ 関孝弘ピアノ・トークコンサート日時: 6月25日(日) 13:30～14:30
会場: 東京富士美術館 ロビー

出演: 関孝弘(ピアノ)

内容: ピアノも弦楽器も五線譜もイタリア生まれ。モーツァルトもショパンもイタリアが原点。「すべての道はローマに通ず!」。“実力派ピアニスト”関孝弘がトークを交え“イタリア珠玉のピアノ作品”を紹介。レスピーギ、ガルツピ、チマローザ、ロータなど、イタリアの澄み切った音の世界をお楽しみください。

曲目: モーツァルト／一本指のワルツ、トルコ行進曲、チマローザ／ソナタ26・27番、ガルツピ／ソナタ1番「エレナ」、レスピーギ／アンダンテ、シチリアーナ、マスカーニ／間奏曲、プッチーニ／小さなワルツ、ニーノ・ロータ／サーカス・ワルツ、ゴッド・ファーザー「愛のテーマ」、ショパン／ポロネーズ、パガニーニの思い出、ノクターン遺作

LOCHARD, Paris
1910年頃

関孝弘 (ピアニスト) せき●たかひろ

東京に生まれる。5歳よりピアノを始め第20回日本学生コンクール・中学の部2位。東京芸術大学付属音楽高校より、同大学に進み、在学中に第45回日本音楽コンクール2位、安宅賞受賞。イタリアのブレーシャ国立音楽院に留学し、国際コンクールにおいて、フィナーレ・リーグレ国際2位、ザンポーニ国際1位、ベリーニ国際3位、ラフマニノフ国際3位、エンナ国際3位等、多数の上位入賞を果たす。ヨーロッパ全土で演奏旅行を開始。

東京交響楽団、東京都交響楽団を始め、旧レニングラード・フィル、モスクワ国立交響楽団、ワルシャワ・フィル、ベニス室内合奏団など世界の著名オーケストラと共演。88年～05年まで東京芸術大学講師を務める。これまでに村上明美、井口秋子、マリオ・コンテル、マリア・ティーポの各氏に師事。



“芸術の宝の都”イタリアの「ピアノ作品」を意欲的に紹介しており、本邦初演も多数。CDは徳間ジャパンより6タイトル、コロムビア・ミュージックより2タイトル、ブリランテより1タイトル発売。楽譜も全音楽譜出版社より多数、イタリア作品のすべてが日本初出版で、レスピーギ2は世界初出版。

06年6月発刊の「イタリアの日常会話から学ぶ Viva la Musica! ～これで納得!よくわかる音楽用語のはなし」(全音)は、すでに各方面で大変話題になっている。

透徹された響きの美しさには定評があり、毎年のソロリサイタルで東京文化会館大ホールを満席にする“実力派ピアニスト”である。